2022 年 12 月

技術系学校推薦制度：学内応募手続きについて（2024 年採用）

上智大学キャリアセンター

1．学校推薦制度の概要・基本ルール／求人情報

■概要・基本ルール

・学校推薦とは、大学と企業間の信頼関係に基づく応募方式です。
大学長が、学生が「本命（第一志望）」とする企業に学生を「推薦」します。
大学と企業との間には、信義則上の約束ごとが発生することになり、**学校推薦で応募すると、いかなる理由があっても「応募放棄」、「選考途中辞退」、「内定辞退」は一切できません。**

・**学校推薦で応募できる企業は１社のみ**です。
応募企業の合否の結果が出るまでは、他社の学校推薦に応募することはできません。

・**学校推薦応募と自由応募を併願することはできます。**ただし、**学校推薦応募で内定したときは、他社の就職活動を中止し、終了しなければなりません。**

・学校推薦に応募するための学業成績の基準点は設けていません。

・学校推薦応募者の学内選考は行いません。ただし、企業が指定する推薦枠数を超える応募者があり、かつ企業から選抜の求めがあった場合は学内選考を行います。

■学内応募条件

2024 年 3 月／2023 年 9 月卒業・修了予定の本学理工学部・理工学研究科生で、「進路希望入力」完了者

⇩

＜「進路希望入力」手順＞
「キャリアセンターシステム（ https://uc-student.jp/sophia/ ）」にログイン→
初ログイン者：「進路希望」から
2 回目以降ログイン者：「マイページ>進路希望の確認・変更」から

■応募できない者

つぎの者は学校推薦に応募することはできません。
・応募する企業が本命（第一志望）でない者
・卒業／修了見込のない者
・学部生で大学院への進学を考えている者

■学校推薦求人情報

学科・領域および応募枠数を指定のうえキャリアセンター宛に届いた求人情報は、[Loyola ＞ 就職・キャリア支援 ＞ web キャリアセンターはこちらから ＞【理工系】技術職を目指す ＞ 技術系学校推薦・求人票について] に掲出します。
※上記指定のない求人情報は、「キャリアセンターシステム（ https://uc-student.jp/sophia/ ）」に企業から直接オンラインで掲出されることがありますが、そちらの応募手続きも同様です。

2. 応募の日程・手順、応募後の流れ

■学内応募の日程

学校推薦申請書の提出は、2022 年度の成績公開スケジュールに基づき、**2023 年 3 月 15 日（水）**から受け付けます。

学校推薦申請書の提出は、各自、応募企業の募集要項、求人票、説明会や学内の企業登壇プログラム等で応募締切日や選考日程等を正確に把握し、**同社推薦応募へのエントリー（意思表示）の後に、直ちに行ってください。「企業へのエントリー」および「大学への推薦申請書提出」の両方を行うことが必要です。**

※応募企業が定める学校推薦の選考日程に間に合わず応募の機会を逸する恐れがある場合は、キャリアセンターにお問い合わせください。

※学内の応募締切日は、一律には設けていません。各自、応募企業の募集要項、求人票、説明会や学内の企業登壇プログラム等で応募締切日・選考日程等を必ず確認してください。

※社内に上智大学技術系 OB・OG 組織のある企業については、所属する OB・OG から、学校推薦選考対策等に関するサポートや情報提供を受けられることがあります。OB・OG 組織 and/or 所属する OB・OG 個人の連絡先は、キャリアセンター受付脇に設置の紙ファイル「【学校推薦を含む】技術系 OB・OG 名簿」を参照してください。

■学内応募の方法

応募希望者は、**「学校推薦申請書」（大学所定書式）**(※) に必要事項を記入の上、所属学科／領域の研究指導教員、就職担当教員およびキャリアセンター宛に、つぎの要領でメールを送信してください。
研究指導教員が未決定の学部生は、研究指導教員を除いた宛先に送信してください。

・to：研究指導教員、就職担当教員 (※)、キャリアセンター・技術系学校推薦担当 (※)
・メールの件名：「学校推薦申請書［学生番号・氏名］」としてください。

（※）・(1)「学校推薦申請書」（大学所定書式）、(2)就職担当教員、キャリアセンター・技術系学校推薦担当者の氏名およびメールアドレスは、以下からダウンロードして入手してください。
［Loyola ＞ 就職・キャリア支援 ＞ web キャリアセンターはこちらから ＞【理工系】技術職を目指す ＞ 技術系学校推薦・求人票について］

■企業から学校推薦応募の意思を求められる時期

企業から学校推薦応募の意思（学校推薦書を提出する意思）を求められる時期は、つぎの 3 つに大別されます。

A) エントリー時：企業は、エントリーの時点で応募者がキャリアセンターに学校推薦申請書を提出し、学校推薦への応募手続きを完了していることを確認したうえで選考を開始する。

B) 選考途中：企業は、選考フローのある段階で、応募者がキャリアセンターに学校推薦申請書を提出し、学校推薦への応募手続きを完了していることを確認したうえで最終選考の機会を与える。
※企業によっては、併せてエントリー時に学校推薦への応募意思の有無を応募者に確認する場合もある。

C) 最終選考合格後：企業は、最終選考に合格した段階で、応募者がキャリアセンターに学校推薦申請書を提出し、学校推薦書の交付手続きを完了していることを確認したうえで内定を出す。
※企業によっては、併せてエントリー時に学校推薦への応募意思の有無を応募者に確認する場合もある。

応募にあたっては、応募企業の募集要項、求人票、説明会や学内の企業登壇プログラム等で選考プロセスを確認して臨んでください。

■学校推薦書の交付日・交付方法

学校推薦書（学長公印を押印した原本）は、**2023 年 6 月 1 日（木）**から応募企業に提出できるよう

に、応募者が大学に届け出ている現住所宛に郵送（普通郵便）します。**現住所以外への郵送を希望する場合は、学校推薦申請書の「学校推薦書送付先」欄に希望の郵送先を記入し提出することによって、キャリアセンター・技術系学校推薦担当宛に届け出てください。**
企業への学校推薦書の提出は、応募者自身で行ってください。キャリアセンターからの提出は行いません。

■応募企業への通知（学校推薦書交付前）

キャリアセンターは、学校推薦書の交付前（6 月 1 日（木）より前）に学校推薦申請書を応募者から受理した場合、応募者が学長が正式に推薦する学校推薦候補者であることを、応募者情報（氏名、所属、企業への応募者登録 ID）を添えて応募先企業にメールで通知します。それによって、学校推薦候補者としての選考対応を求めます。

■学校推薦合否報告

学校推薦応募先企業から選考結果の連絡を受けたら、合否にかかわらず速やかに**「学校推薦合否報告」（大学所定書式）**(※) をメール添付により提出し、必ず大学に報告してください（**メール宛先：2 ページ「■学内応募の方法」の項に同じ。件名：「学校推薦合否報告［学生番号・氏名］」としてください**）。

（※）・「学校推薦合否報告」（大学所定書式）は、以下からダウンロードして入手してください。
［Loyola ＞ 就職・キャリア支援 ＞ web キャリアセンターはこちらから ＞【理工系】技術職を目指す ＞ 技術系学校推薦・求人票について］

1 社目の選考に不合格となった後、他社の学校推薦への応募を新たに希望する場合、「合否報告」の提出を終えていないと申請書を受け付けることができません。

■学校推薦応募枠の充足状況の確認について

学校応募の期限が過ぎた後や期限が明記されていない学校推薦求人への応募可否を知りたい場合は、**各自で企業の採用担当部門に直接問い合わせて確認してください。**応募可能であることの確認が取れた場合のみ、キャリアセンターに学校推薦申請書を提出することができます。

3. 注意事項

■学校推薦の利点と欠点

学校推薦応募にあたっては、選考日程や方法、合否状況だけによる安易な選択は避け、つぎの利点と欠点、および業種や職種に対する自身の適性やキャリアプランも含めて慎重に検討してください。

【利点】

学校推薦応募には、自由応募と比較して、①内定率が比較的高い傾向がある、②書類選考、筆記試験や面接試験などの選考ステップが少なくなることがある、③選考日程および合否の結果通知が早い、という利点があります。

【欠点】

学校推薦応募は、自由応募と併願して行えます。しかし、学校推薦応募では応募先企業の内定を辞退しないことを誓約しているために、たとえ自由応募で内定した企業に自身の適性があると感じたとしても、そちらは断らなくてはなりません。そのため、企業選択の幅が自由応募よりも狭くなる面があります。

■学校推薦に関する間違った認識

企業の採用選考の学校推薦は、**大学入学試験の指定校学校推薦とは違い、内定枠が確保されているわけではありません。内定者数を保証するものでもありません。**

学校推薦は自由応募と比較して内定率が高めだから選考が楽だと思うのは大きな間違いです。

企業が求める人材要件や技術職に必要な基礎能力を満たしていないとみなされれば、学校推薦であっても選考に通過することはできません。

学校推薦を選択した場合でも、就職活動で取り組むべきことは自由応募と同じです。業種・企業・職種研究、自己分析、エントリーシート、筆記試験、面接試験への対策は必須です。

■ジョブマッチング選考について

ジョブマッチング選考とは、入社前の採用選考の段階で、応募者が志望する職種や事業分野あるいは事業所を選択して臨む選考のことです。

企業（リクルーターや技術部門社員）は、応募者との面接を通じて、応募者の希望・適性および自社の採用方針・要件を相互に確認しながら、入社後の配属先を入社前に決定します。

ジョブマッチング選考においては、志望する職種への理解と適性が問われます。特に、面接で適性を問われたときは、その根拠を論理的かつ具体的に示し、的確に理解してもらえるようにするための準備と工夫が重要です。

■リクルーターについて

技術系採用活動では、リクルーターを活用する企業があります。**リクルーターは本学卒業生とは限りません。**

リクルーターの役割は企業により異なりますが、つぎの二つに大別されます。応募先企業のりクルーターの役割を踏まえて、就職活動に臨んでください。

A) 採用に関して一定の権限を持ち、人事部による選考以前に、ある程度応募者の選抜や評価を行う。企業によっては、リクルーターとの面談の時点で合否を決定する企業もある。

B) 採用選考に関する権限は持たず、事業分野や技術系職種の内容や特色、あるいは自己 PR や志望動機など就職活動に関する質問や疑問に答えたり、助言を与えたりする。

【参考】主な企業の学校推薦合否状況（過去 3 カ年）

主な企業の過去 3 カ年の学校推薦合否状況は、以下からダウンロードして参照してください。
［Loyola ＞ 就職・キャリア支援 ＞ web キャリアセンターはこちらから ＞【理工系】技術職を目指す ＞ 技術系学校推薦・求人票について］

「合否状況」には、企業が応募者に学校推薦応募の意思を確認する時期も関係しています（※2 ページ目の「■企業から学校推薦応募の意思を求められる時期」参照）。**数値による単純比較は難しいことを充分に理解したうえで活用してください。**

以上

＜技術系学校推薦制度に関する照会先＞
キャリアセンター（2 号館 1 階）
担当：中村・中川
電話：03-3238-3581
メール：rikoucareer-co@sophia.ac.jp
（技術系学校推薦担当メールアドレス）